

**“遺産”をメモリアルグッズに甦らせる、ぴあの再生プロジェクト第3弾
老舗「ホテルオークラ東京 日本館」の“思い出”をお手元に
～ホテルオークラ東京“Charity Project for Music”～**

ぴあ株式会社(所在地:東京都渋谷区、代表取締役社長:矢内廣、以下ぴあ)は、ホテルオークラ東京(所在地:東京都港区、代表取締役社長:池田正己)とともに企画・制作を行い、「ホテルオークラ東京 日本館」で使用されていた調度品、備品を、“思い出の品”に再生し、個数限定で販売いたします。

ホテルオークラ東京は、1962年に世界に通じる日本独自のホスピタリティサービスを宣言して開業。建築や意匠にまでその精神は浸透し、伝統的な文様やしつらえ、照明など、和の美しさと洋の機能性を備えた設計が取り入れられた老舗ホテル。その旧本館が、多くのファンに惜しまれながら、2015年8月31日をもって建替工事に入りました。

ぴあでは、ホテルオークラ東京の協力のもと、思い出の共有と、音楽活動への支援を通じた社会貢献を目的とするプロジェクト「ホテルオークラ東京 “Charity Project for Music”」を企画。開業時より大切に受け継がれ、親しまれてきた同ホテルの客室やレストラン、宴会場等で使用されていた調度品や備品を、国内企業の方々と、第一次販売分として27のメモリアルグッズに甦らせました。11月4日(水)からOne Harmony(*)会員様向け先行販売、11月24日(火)からは一般販売をスタート、ともに「チケットぴあ」Webサイトにて展開いたします。

*One Harmony とは、オークラ ホテルズ & リゾーツ、ニッコー・ホテルズ・インターナショナル、ホテル JAL シティの入会金・年会費無料の会員プログラム。会員登録、商品購入の手順はホテルオークラ東京 Web サイト(<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/events/charity>)にてご確認ください。



ホテルオークラ東京“Charity Project for Music” 販売概要

■対象商品販売期間

「One Harmony」会員先行販売:2015年11月4日(水)18:00～11月23日(月)23:59

一般発売:2015年11月24日(火)18:00～12月31日(木)23:59

■特設サイト URL <http://w.pia.jp/t/hotelokura/> (11月4日18:00公開)

*各種注意事項がありますので、特設サイトは必ずご確認ください。

【主な販売商品】

* 販売価格(税込)/販売数/製造元

	
<p>ルームナンバープレート 6,000 円(税込)/310 個/株アームス</p>	<p>Z-8/オークラ ver(赤、金、青) 16,000 円～18,000(税込)/50～100 個/山田照明株</p>
	
<p>オークラクッション/桃花林 9,500 円(税込)/15 個/コラボリズム株</p>	<p>オークラクッション/平安の間/金 10,000 円(税込)/50 個/コラボリズム株</p>
	
<p>オークラペンダント/プレミアム 1,000,000 円(税込)/6 個/株AVANCEUR</p>	<p>オークライヤリング/プレミアム 1,000,000 円(税込)/6 個/株AVANCEUR</p>

その他、21 商品、合計 27 商品をラインナップ

※今後、現在試作中の素材: 旧本館フロア内手すり、鱗紋タイル(宴会場入口庇のタイル)、照明備品などの販売も予定しています。(随時追加予定)

[本件に関するお問い合わせ]

商品、購入方法に関するお問い合わせ: E-mail: memorialgoods-order@pia.co.jp

マスコミ・報道関係のご取材: ぴあ株式会社 広報室 大木、高塚、栗田

TEL: 03-5774-5294 E-mail: koho@pia.co.jp

【ご参考】

“廃材”をメモリアルグッズに甦らせる、ぴあの「再生プロジェクト」について

ぴあでは、スポーツ施設、ホールの建替による解体に伴い、これまで“廃材”として費用をかけて処分されるはずだったものに“隠れた価値”を見出し、“新しい資産”として再生、“メモリアルグッズ”として販売するというプロジェクトを推進しております。

◆第1弾 「SAYONARA 国立競技場 FINAL“FOR THE FUTURE”MEMORIAL GOODS」

独立行政法人日本スポーツ振興センターが管理・運営する国立競技場の解体にあたり、メモリアルグッズ 54 商品を企画、販売。2014 年 5 月 31 日から 12 月 31 日までに約 11,000 点をご購入いただきました。販売数の多かったものは、卓上プランター芝生(約 7,000 点)、自由席(約 1,300 点)、指定席(約 1,100 点)など。また、ロイヤルシート、マンホール、ゲート看板、座席案内板、VIP席、電光掲示盤時計など、高額でもレア感の高い商品は、発売後 30 分以内に完売しました。収益の一部は、新国立競技場の建設費用の一部として活用される予定です。

また、派生企画として、“スタンドの自由席シート”の座面を活用し、3 組のデザイナーによる椅子として再生。ドリルデザインが「スツール」を、白鳥浩子が「チェア」を、鈴木元が「2 人掛けのベンチ」を、それぞれがデザインし、日本最大の家具メーカー・カリモク家具が設計、製造を担当、3 種の「デザイナーズチェア」として 2015 年 7 月 4 日より販売しました。スツールは、予定の 350 脚を上回るご注文をいただき、追加生産を行うほど、ご好評をいただきました。

特設サイト URL <http://pia.jp/t/sayonaragoods/> (販売はすでに終了しています)

◆第2弾 アイドルの聖地「日本青年館大ホール メモリアルグッズ」

株式会社ニッセイが管理・運営し、2015 年 3 月 30 日をもって 90 年の歴史に幕を下ろした日本青年館大ホールの解体に際し、長年使われていた楽屋の鏡、緞帳、席番プレート、マイクスタンドなどの思い出深い品、合計 66 商品を、5 月 30 日より販売しました。アイドルたちが初ホールコンサートを目指すシンボリックな会場として知られており、松田聖子や岡田有希子、森高千里をはじめ、最近ではAKB48 やももいろクローバーZ、私立恵比寿中学などが初ホールコンサートを開催し、多くのファンにとっても大変思い出深い場所ということもあり、話題となりました。楽屋の部屋番号を示すプレートや舞台暗幕を利用したクッションなどに人気が集まりました。収益の一部は青少年の音楽支援に活用される予定です。

特設サイト: <http://w.pia.jp/t/seinenkan-mg/> (販売はすでに終了しています)

これらの企画では、廃材に価値を見出し、ぴあオリジナルの加工により収益を生んでおり、さらにその収益の一部が社会貢献、地域貢献の資金として活用されるという、様々なメリットがある「再生プロジェクト」を、ぴあでは今後も積極的に展開していきたいと考えております。

[本件に関するお問い合わせ]

商品、購入方法に関するお問い合わせ: E-mail: memorialgoods-order@pia.co.jp

マスコミ・報道関係のご取材: ぴあ株式会社 広報室 大木、高塚、栗田

TEL: 03-5774-5294 E-mail: koho@pia.co.jp